

自社製フレームワークで生産性向上 IT企業では稀な働きやすい環境

創業時から一貫して「研究開発支援のフルオーダーメイド企業」として、我が国の研究開発やイノベーションを支える研究機関等向けのソフトウェアを製作するIT企業。2006年に創業地の東京から研究開発の集中地である茨城県つくば市に移転。同地における雇用創出や地域での企業間連携にも積極的に取組んでいる。近年は救命訓練向け製品「救トレ」を開発し、海外展開にも積極的に取組んでいる。

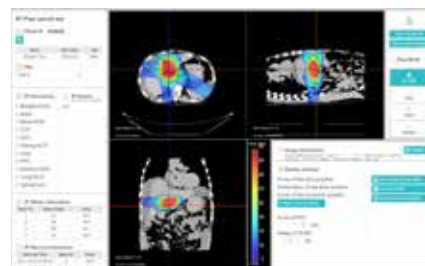
●所在地	茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターCB10
●電話／FAX	029-846-6671／029-846-6672
●URL	https://www.penguins.co.jp
●代表者	代表取締役社長 仁衛 琢磨

●設立	1983年
●資本金	2,500万円
●従業員数	26人



スパイラル型開発により高難度研究開発オーダーメイドに対応

同社は国研・大学等での最先端研究向けのソフトウェアをオーダーメイドするという高難度のビジネスモデルを確立。このモデルは研究開発の特性上、仕様が曖昧で途中変更も多いという困難さを伴うが、同社はプロトタイプ提示や軌道修正の打合せを高頻度で行い、その工程を繰り返しながら質を高めていくスパイラル型開発により克服している。顧客満足度の高いサービスを提供し、研究者からは「高難度のオーダーメイドでは同社が随一の選択肢」という評価を受け、我が国のイノベーションを最前線で支えている。



最先端研究向けのソフトウェア

自社製フレームワークの構築で生産性向上を実現

オーダーメイド事業は品質と製作者の仕事量とが比例するモデルであり、同社も人手不足に直面した。そこで同社は、平成28年度にWebインタフェースを持つ独自のフレームワークを構築し、この利用によりオーダーメイドにおいて重要となる顧客の利用環境の多様性は担保しつつ、人手不足の解消と生産性向上を実現した。この結果、大幅な増員が困難となるなか、平成28年度/平成30年度比で売上高74%増を達成している。



ソフトウェア開発の様子

IT企業では稀な働きやすい環境で人手不足解消

同社は東日本大震災を契機に、時間単位及び半日単位の有給休暇制度を確立し、また、生活残業をなくすため残業代相当の時間分を手当で支給する等、他社に先駆けた働き方改革を実践。これにより、昨年度残業は月平均で8.6時間、有給休暇の取得率は65%となっている。なかには産休・育休を複数回取得して役職者として復帰した女性社員や育休を取得する男性社員も在籍している。なお、同社は2018年に厚生省ユースエール認定を受けたが、これは茨城県内で4社目、IT企業としては初のことであり、さらに同認定を翌2019年にも受けている。



ユースエール認定受賞時の様子